

平成 27 年（2015 年）8 月 10 日

ビッグデータ数理国際研究センター 応用数理分野における世界最大の学会で研究機関紹介ビデオに登場

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所（NII、所長：喜連川 優、東京都千代田区）のビッグデータ数理国際研究センター（センター長：NII情報学プリンシプル研究系教授 河原林健一）が、本日北京で開催した工業数学・応用数学の国際学会「International Congress on Industrial and Applied Mathematics」（ICIAM 2015）の公式テレビチャンネル「ICIAM 2015 TV」で紹介される世界の研究機関 9 事例の一つに選ばれました。紹介ビデオは以下の URL で視聴できます。

http://www.websedge.com/videos/iciam_2015_tv/#/global_research_center_for_big_data_mathematics

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGVe6BxyFHNW2IJ0Wu6xBw10zJ2bzoOUU>

ICIAMは世界各国の工業数学・応用数学の関連学会が共催する国際的な連合学会（*1）です。応用数学の分野における世界最大の学会であり、オリンピック同様、4年に一度の開催に合わせて世界の応用数学研究者が一堂に集まる「祭典」でもあります。このため、応用数学研究者やコンピュータサイエンス研究者に対して大きな影響力をもっています。4年に一度開かれる学会の度に紹介される約10件の研究機関の一つとして、今回、NIIのビッグデータ数理国際研究センターが取り上げられたことは、応用数学の分野や数学の産業への応用において世界的な研究実績が認められ、イノベーションへの期待が示されたこととなります。

ビデオは英語で制作され、長さは6分22秒。NII所長の喜連川やセンター長の河原林が取り組みの内容について説明しているほか、河原林が研究統括を務める「JST ERATO 河原林巨大グラフプロジェクト」（*2）などの戦略的創造研究推進事業を推進する国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）の中村道治理事長、同センターの研究者らが登場しています。14日までのICIAM 2015の会期中、会場内や提携ホテルの客室で放映されるほか、会期終了後も上記サイトで視聴が可能です。

以上

(*1) 「ICIAM」：応用数学の発展や研究者間の国際交流、応用数学研究者と産業界による意見交換の場を提供することなどを目的として、昭和 62 年（1987 年）にパリ郊外でアメリカ、イギリス、フランス、ドイツの 4 団体の共催で第 1 回が開催。その後、オリンピック同様に 4 年に一度開催され、今回が第 8 回の開催となる。前回の「ICIAM 2011」には 74 カ国・地域から 2761 人の参加があった。今回の「ICIAM 2015」(<http://www.iciam2015.cn/>) は初のアジアでの開催で、約 3000 人の参加が予想されている。

(*2) 「JST ERATO 河原林巨大グラフプロジェクト」：平成 24 年（2012 年）10 月に JST の戦略的創造研究推進事業 ERATO 型研究プロジェクトに採択。数学・数理科学・計算機科学領域に指定され、研究期間は平成 30 年（2018 年）3 月まで。詳細はビッグデータ数理国際研究センターのウェブサイト（河原林巨大グラフプロジェクト NII サイト）の「プロジェクト概要」ページ (<http://bigdata.nii.ac.jp/wp/aboutus/>) 参照。